

LIGHT SYMPHONIC CONCERT

ライト・シンフォニックコンサート
大人の癒し

Vol.
13

—魂を揺さぶる 力強い歌声再び—

【演奏予定曲】

ロッシーニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲

ロッシーニ：歌劇「ウィリアム・テル」より“動いてはいけない”

ヴェルディ：歌劇「運命の力」序曲

ヴェルディ：歌劇「ドン・カルロ」より
“終わりの日が来た～おお、カルロ様、お聞きください”

モーツァルト：歌劇「魔笛」序曲

ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ

江原啓之オリジナル：

ラピスの丘で ～Lapis Lazuli～

いのちのルネッサンス

幸せのみつけかた

誰かのために

【指揮】高橋直史（大阪交響楽団 首席客演指揮者）

【管弦楽】大阪交響楽団

「歌とトーク」江原啓之

2026 8.22 (土) 14:00開演 (13:00開場)
ザ・シンフォニーホール

SS席 10,000円 S席 8,000円 A席 6,000円 (税込)

主催：公益社団法人 大阪交響楽団 ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ

■ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonycorpus.jp>
■ 大阪交響楽団 チケットセンター 072-226-5522 (平日10～17時) <https://sym.jp>

プレイガイド

■ teket(テケト) <https://teket.jp/13679/68116>
■ e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonycorpus> (パソコン・携帯)
■ ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonycorpus> [Lコード:57412]
■ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonycorpus> [Pコード:326-064]



teket(テケト)

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。



© 阪島隆

LIGHT SYMPHONIC CONCERT

Vol.
13

ライト・シンフォニックコンサート ♪ 大人の癒し ♪ - 魂を揺さぶる 力強い歌声再び -

ザ・シンフォニーホールと大阪交響楽団による人気コラボ企画「ライト・シンフォニックコンサート」。今回は、スピリチュアリストでありバリトン歌手としての活躍も目覚ましい江原啓之が、Vol.10に続いて再登場。ロッシーニ『ウイリアム・テル』やヴェルディ『ドン・カルロ』より名作オペラアリアを歌いあげる。また、『幸せのみつげかた』や『誰かのために』など、心震わせる江原オリジナルの名曲の数々も披露。演奏は高橋直史指揮の大阪交響楽団。強い信頼関係に結ばれた3者によるコンサートは、誰もが楽しめるものになるはずだ。

音楽ライター 磯島浩彰



〈歌とトーク〉江原啓之

テレビ、ラジオ、雑誌、講演会など精力的に活動しているスピリチュアリストとして知る人も多い。和光大学、國學院大學神道専修を経て、神職としての経験も持つ。2001年刊行の『幸運を引きよせるスピリチュアル・ブック』がベストセラーとなり、ラジオ番組は今年で16年目となるTOKYO FM『江原啓之 おと語り』がFM大阪でも絶賛放送中。武蔵野音楽大学特修科修了。菊池英美、吉池道子の諸氏に師事。2008年『セヴィリアの理髪師』にフィオレルロ役でオペラデビュー。『活動20周年記念コンサート』を三枝成彰音楽監督のもと4都市で開催。『ジャンニ・スキッキ』『夕鶴』他、数多くのオペラや演奏会に出演している。また、今年9月には、フェニーチェ堺 大ホールにて開催される「堺シティオペラ 第41回定期公演『魔笛』」に武士II役としての出演も決定している。音楽活動はクラシックにとどまらずポップスも歌い、2004年にアルバム『スピリチュアル ヴォイス』でCDデビュー。これまでCDアルバムは11枚リリースしている。吉備国際大学ならびに九州医療科学大学客員教授。日本演奏連盟会員。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。日本オペラ振興会常務理事。

〈指揮〉高橋 直史

東京藝術大学指揮科卒業、同大学院修了。国際ロータリー財団奨学生として渡独し、ミュンヘン音楽・演劇大学大学院指揮科修了。その後、文化庁派遣芸術家としてバイエルン州立歌劇場にて研鑽を積む。ドイツではオペラを中心にキャリアを築き、ブランデンブルク歌劇場、オズナブリュック歌劇場を経て、エルツゲビルゲ歌劇場第一指揮者、その後、同歌劇場の音楽総監督(GMD)及び首席指揮者を歴任。同地では日本人作曲家作品の紹介や、歴史に埋もれた作品の蘇演に尽力し、シュミット・コヴァルスキーやメンデルスゾーン、シューマン等の録音も高く評価されている。また、ペーター・レーゼ、ペーター・ダム、ヨッヘン・コヴァルスキーら巨匠との共演も多数。2021年より日本に拠点を移し、現在は大阪交響楽団首席客演指揮者を務めるほか、金城学院大学文学部音楽芸術学科教授、NHKカルチャー講師としてオペラ講座を担当するなど、幅広くクラシック音楽の魅力を発信している。



〈管弦楽〉大阪交響楽団

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・数島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称した。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史(常任指揮者)、柴田真郁(ミュージックパートナー)、高橋直史(首席客演指揮者)の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

楽団公式ホームページ <https://sym.jp>



© 飯島隆